

2020年9月30日

株式会社日新で「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 三毛 兼承^{みけ かねつぐ}、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャルグループの一員である三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な確認を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

本日、株式会社日新（代表取締役社長 筒井 雅洋^{つつい まさひろ}）は、本商品にてタームローン契約を締結いたしました。

また、MUFG ESG 評価において、「特に進んでいる」との評価である A ランクを取得しました。

株式会社日新は、グリーン経営認証取得の推進など環境経営の強化に積極的に取り組み、グループの強みである海外ネットワークと国際物流を活かした新たなビジネスモデルをグループ一体となって創出することで、お客様から信頼され評価される「真のグローバル・ロジスティクス・サービス・プロバイダー」を目指しています。社会インフラを支える「社会の公器たる日新」として今回の ESG 評価の取得をきっかけに、今後、更なる ESG への取り組み強化を図って参ります。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

- ✓ グリーン物流パートナーシップ会議に於いて推奨されたモデル事業における輸送事業の効率化や、コンテナラウンドユースや IT を活用した容器管理などの廃棄物発生量削減といったグリーン経営を実施している点
- ✓ 英国現代奴隷法（Modern Slavery Act 2015）に関して声明を公表するなど、グループの自社事業及びサプライチェーンにおける奴隷労働や人身売買などの防止を目的とした人権問題に関する取り組みを積極的に実施している点
- ✓ コーポレートガバナンスコードに沿ったガバナンス体制を構築し、コーポレートガバナンス報告書を開示するとともに経営の透明性と経営効率の向上を基本とした企業統治を徹底している点

当行は金融機関の使命として、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを経営ビジョンに掲げており、本業である金融機能を通じた環境及び社会の課題解決に積極的に取り組むことで、持続的な事業の成長と企業価値の向上の実現を目指しています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上